

■米国：オバマ政権、電力貯蔵設備導入促進イニシアティブを発表

オバマ政権は2016年3月16日、電力貯蔵設備の導入促進を目的としたイニシアティブを発表した。これは、蓄電池を導入し、需要調整、および再エネ導入拡大を可能にする柔軟性の高い電力網を構築することを目的としたもので、(1) 米軍基地のマイクログリッド化など、連邦政府が設置する蓄電池導入量の拡大、(2) 8州16電気事業者が計画している電力貯蔵設備の導入計画、(3) 電気事業者のスマートメーター設置、およびデマンドレスポンスプログラムの展開促進等が含まれている。これらの活動によって、少なくとも今後5年間で新たに130万kWの電力貯蔵設備が設置されると予想されている。